

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	緑の基本計画事業			会計	款	項目	大専	小専	
				01	08	04	08	02	61
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	みどりの課					
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	主管課長	本田 英師					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民・市域	意図	市内の公園、緑地、樹林地など、緑地の保全や緑化推進に関する総合的な計画を市民意見を取り入れながら策定することで、市民ニーズに対応した公園緑地等の整備・管理を行う
事業内容	H18年3月に策定した緑の基本計画を改定するものであり、H30年度、31年度の2か年継続業務。H30年度は、緑の現況分析、市民意識調査、調査結果の分析・評価、課題整理、計画目標・基本方針の設定を行う。H31年度は、具体施策の検討、計画素案の作成、計画策定を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	H18年3月の計画策定当時から、土地区画整理事業の進捗や物流施設の建設など、流山市内の情勢が変化し、公園・緑地等の緑に関する考え方も、都市公園法の改定に見られるように「ストックの活用」「維持管理」へと変化している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	アンケートや市民会議を実施し、市民意見を把握した。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） H30年度実施予定の作業については完了している。 市民意識調査を行い、市民ニーズを把握することができた。		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)			8,606,250				
事業費(b)(円)			3,991,850				
うち一般財源			3,991,850				
職員給与費(c)(円)			4,614,400				
人役・職員(人)			0.70				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)		③取組における課題(Check)	これまでに行った作業を取りまとめ、具体施策の検討や素案作成につなげていく。
②H30に実施した取組(Do)	緑の現況分析、市民意識調査、調査結果の分析・評価、課題整理、計画目標・基本方針の設定を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	これまでに行った作業の取りまとめや具体施策の検討については、庁内の部会や学識経験者・市民等を含む策定委員会で意見を伺いつつ改定を行う。